

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅳ				篠原 正人	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	2年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>経営学の一端として「ロジスティクス」を扱う。 ロジスティクスは物流論から発展してきたもので、材料/部品調達・製造時の部品の管理・製品の保管・配送などを総合的に管理する手法と考え方を扱う。これを「サプライチェーン・マネジメント」とも呼ぶ。 近年、Eコマースと宅配事業が急激に発達し、ロジスティクスが企業経営にとって極めて重要な事柄となった。 まだ比較的新しい学問なので認識は浅いが、これを学んだ人たちが経営の中心となって活躍する時代が来ている。 地域経営演習では、ロジスティクスの基本を、実地見学などを踏まえて学習する。 演習では予習してきた内容を発表し、議論することを主体とする。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>企業経営におけるロジスティクスの重要性が認識できる。 ロジスティクスの内容を把握している。 社会におけるロジスティクスの課題を認識している。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ロジスティクスという領域の確認				
第 2 回	ロジスティクスにおける物流の内容確認				
第 3 回	企業経営の従来とロジスティクス経営の違い				
第 4 回	事例研究 (1)				
第 5 回	事例研究 (2)				
第 6 回	宅配便のロジスティクス				
第 7 回	ディストリビューション・センターの業務				
第 8 回	港湾運送事業の業務				
第 9 回	世界のロジスティクス概観 (1)				
第 10 回	世界のロジスティクス概観 (2)				
第 11 回	事例研究 (3)				
第 12 回	事例研究 (4)				
第 13 回	ロジスティクスの今後 (1)				
第 14 回	ロジスティクスの今後 (2)				
第 15 回	ロジスティクス研究のまとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>物流施設見学 日本経済新聞を毎日読むこと。 経済雑誌を読むこと。 PowerPointを使ったプレゼン方法の習得。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
ゼミへの貢献度 (50%) 課題提出内容 (50%) を基本とする。 10回以上出席を単位付与の条件とする。	秀：学んだ専門用語を駆使して、論理的・客観的な説明ができ、かつ、問題点の解決方法を指摘できている 優：キーワードを用いながら論理的・客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している 良：おおよその説明はできており、問題点を理解している 可：ロジスティクスとは何かを説明することについて、最低限の水準を満たしている 不可：学習の意欲がなく、学んだ内容を説明できない
テキスト (Textbook)	【書名】 ゼミの中で適宜指示する。 【著者】 【出版年】 【出版社】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	「ロジスティクス・マネジメント戦略」M. クリストファー著、ダイヤモンド社 「ロジスティクスの歴史物語」苦瀬博仁著、白桃書房 ロジスティクス関係専門雑誌 他
備考 (Other Information)	欠席は厳禁。演習は、教員と学生が交流しながら専門分野について深く探求していくもので、社会に出る準備として極めて重要な位置を占めると理解すること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	shinohara-masato@fukuchiyama.ac.jp